

まちなかアートギャラリー推進事業_【最終結果_作品一覧】

	作品画像	作品タイトル	アーティスト名	この作品への思い	アーティスト写真
1		Tower of humans	ido	<p>フリードリヒ・ニーチェの言葉「神は死んだ」(Gott ist tot.)に着想を得ました。 「科学の発展により、絶対的な道徳や価値観(神)が西洋社会で失われたこと」を意味する言葉です。 「バベルの塔」に対して対義的な意味を持たせたかったので、「Tower of humans」というタイトルです。</p>	
2		海底の王様	藤原正登	海底の魚達に想いをはせました	
3		やすらぎのひととき	曾我部林造	<p>可憐に咲く花々の姿を丁寧に書きました。華やかな佇まいの中で、心を落ち着かせて物思いにふけるのも楽しいものですね。</p>	
4		イオンモール京都五条の駐車場入口	野田悠起	<p>私はイオンモールの表情がたまらなく好きで店の玄関だけではなく、いつも当たり前利用している駐車場の入り口というあまり目立たず注目されないところに魅力を感じます。</p>	




	作品画像	作品タイトル	アーティスト名	この作品への思い	アーティスト写真
5		龍神五郎丸	K・T	<p>何を描こうか考えている時に、ふと思いついて描こうと思った。怪獣か恐竜を描きたいと思い描いていたが、当時ロシアとウクライナが戦争をしていて戦車も組み合わせようと思った。</p> <p>何回もくじけそうになったこともあったが最後まで描けて良かったです。</p>	
6		龍	二宮光彦	<p>格好よくて空を飛ぶ龍が好きだから、動きだしそうな姿を描きました。</p> <p>眼を強そうに表現できるようにがんばりました。龍の胴体の模様が気に入っているので見て欲しいです。</p>	
7		雪と海	藤原大輝	<p>休みの日、近くの織田が浜に行くと、西条や新居浜、そして山々まで展望できます。</p> <p>コーヒーを飲みながらぼーっと眺めています。</p>	
8		かくとう	ありさん	<p>色という壁にぶつかりました。お金がなく買える画材が限られてしまいそれでも絵を描きたくてでも思った色が出せなくて混乱し破いて捨てたい、続けたい気持ちが喧嘩をしました。色を創るではなく何色になっても大丈夫という気持ちで納得いくまで思い切り重ね続けると下から描いた子達が浮かんで出てあげたくなりました。少しづつ戻ってくるのが嬉しくて模様も描いていくと皆も私の心もハッピーです。</p>	

	作品画像	作品タイトル	アーティスト名	この作品への思い	アーティスト写真
9		丘上の珊瑚礁のような花畑	亀岡 誠	この前に見に行った山の花畑が色鮮やかで、自分の大好きな海の珊瑚礁畑の様に見え、感じたのを思い出し自分なりに描いてみました。	
10		君が笑えば虫も笑う	松下 侑生	境界のない世界の中で、それぞれのいのちが響きあう。この作品には、侑生を感じる「共生の風景」が描かれている。	
11		Garden	今井ララ	普段は色鉛筆ですが、クレヨンに挑戦してできた作品です。綿棒やつまようじをつかって工夫してみました。見た人に明るい気持ちになってほしくて、黄色やピンクの明るい色を使いました。	
12		京都-南禅寺 水路閣の細密画	愛斗	新作を描こうと思い、ならば行った事があり、描きごたえのある京都の水路閣を描くことにしました。アーチが奥まで続く様子がどこか幽玄に感じました。0.03?や0.05?等の字幅の細いペンを使用して描きました。手描き感や歪みは温かみを感じさせてくれるので、フリーハンドで描きました。この作品を通して細かな事へのこだわりや、地道さ、歴史とともに蓄積した陰りのような空気感を感じていただけたらと思います。	

	作品画像	作品タイトル	アーティスト名	この作品への思い	アーティスト写真
13		とんがった石鎚山	大石 涼	毎年紅葉の頃に石鎚スカイラインを母の車で登っていきます。左側の紅葉した山並みの向こうに切り立った石鎚山が「一年間よく頑張ったね」と言うように迎えてくれます。この山が僕や僕の大切な人たちを守ってくれているようでとても大好きです。	
14		光に向かって	立花SiSi太郎	いつか世界は一つとなり、戦争や争いの無い明るい未来を目指し進んで行けるように願いを込めました。	
15		だあ〜いすき	拓実-Takumi-	じゃれているパンダを描きました。 日本にはパンダがないので、このパンダを見て少しの癒やしになったらいいなと思います。	
16		かわはらさん	中岡 庸浩	毎日塗り絵を頑張っています。	

	作品画像	作品タイトル	アーティスト名	この作品への思い	アーティスト写真
17		break time	気分すこぶるいい	あえて何がモチーフだとははっきり提示しません。この作品を通して会話が弾めばと思います。よろしくお願いします。	
18		いちごともも	石村ゆかり	可愛いものが大好きな石村さん。好きな色を重ねて自分の納得のいく可愛いフルーツを描いています。作品は石村さんの特に好きなフルーツ「いちご」「もも」を描きました。	
19		お刺身と菊の花	土山啓一	僕の中で菊の花といえば、お刺身の上にちょこんとっている黄色の花だ。あの小さな花はなくてはならない存在だ。お刺身の上ののっていると10倍とは言わないが、3倍はお刺身が美味しくなる。 作品は4つの経過順に絵を重ねており、4番目の「お刺身に飾った菊の花」が見える部分です。?菊の花畑から菊を収穫? 鯛を釣りお刺身にする?お刺身を3点盛りにする(マグロ、ブリ、サーモン)?お刺身に飾った菊の花	
20		ヘンなネコ	和田徳一	「自分は描くのが下手だから・・・」と話してくれる和田さんは、いつもネコを描くと「ヘンになった～」と言い、タイトルが「ヘンなネコ」になります。その時、頭に浮かんだ色を点描でリズムカルに筆を置いて色付けしています。	

	作品画像	作品タイトル	アーティスト名	この作品への思い	アーティスト写真
21		家	山本好伸	カラフルな長方形は一つひとつが家で、作品にはたくさんの家が並んでいます。この中には山本さんの家もあり、友達の家や施設スタッフの家もあります。ちなみに左下の黒で描かれた部分が山本さんの家なのだそう。	
22		ぬくもりを集めて	oboro猫	忙しい毎日の中で、ほっと心が安らぐ時間を表現しました。温かな珈琲の香り、本を読むひととき、好きなものに囲まれた空間。ハリネズミが大切そうに抱える一杯には、小さな幸せやぬくもりが詰まっています。見る人がふと足を止め、自分だけのくつろぎの時間を思い出してもらえたら嬉しいです。	
23		猫とカフェの偶然	ヒロぶよ	猫を探して歩いている途中、偶然おしゃれなカフェを見つけました。思いがけない出会いに「ラッキー！」と心が弾む喜びを、明るくカラフルな色彩で表現しています。日常の中にある小さな幸運や特別な出会いを感じてもらえたら嬉しいです。	
24		絆（ほだし）	きえ	作品説明などはとても苦手で出来ないのですが、絵を描き終わる頃に上から下りてきた(本人談)言葉を詩として書き留めてあります。以下詩になります。 ???????????????? 「絆(ほだし)」 手と脚に、耳と声に、目と脳に、 きつく縛られた縄の痕は 断ち切られた後も鈍く痛む いつ癒えるかもわからないまま 泣き喚くカラダを掻き毟る	

	作品画像	作品タイトル	アーティスト名	この作品への思い	アーティスト写真
25		眼差しの先にあるものは	たろすけ	我が家の飼い猫をモデルに目元をUPで作成をしました。顔は白黒で瞳だけ着色し、ブルーがかったかわいい綺麗な目を強調できました。良い時も悪い時も側に居てくれてありがとう(^ω^)	
26		鯛めしの家	Konomi	愛媛県生まれの私は、中予の炊き込み鯛めし、南予の漬け鯛めしといった、愛媛のそれぞれの地域ごとの特徴の出た鯛めしが好きです。 ですが、東予には代表する鯛めしが今までなく、少し寂しかったのですが、ここ数年で、東予特有の鯛めし「洋風焼き鯛めし」が出来、食べて好きになりました。 せっかく愛媛のレンタルアートなので、私も描きたいと思い、3つそれぞれの鯛めしを家に見立て、そこで暮らす小人風に仕立ててみました。	